

看板再建なる



柘植地域 まちづくりだより 第215号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五二九-1402
電話 四五二-八八八〇 FAX 四五二-八八八三
二〇一八(平成三十)年七月一日(日)

発行日

柘植地域俳句コーナー
加子の花
見つめる程に
色の濃々
富田鋭子

観光看板設置実行委員会
6月25日(月)午前、上町区平地区に「積殖の山口」を再建することができました。

実行委員会では、昨年度の委員会立ち上げから土地や費用の調査を進めつつ、伊賀市教育委員会や伊賀支所と相談をしてきました。最終的に費用については出どころがない現実をふまえ、まち協での予算化と地域住民の協力を制を整えることで、一カ月の間に50名を超える方から約10万円の協賛金をいただき再建実現に至りました。

当日は、伊賀支所の服部禎亮副参事や教育委員会文化財課職員らが祝辞を述べられ、除幕の際には大きな拍手で完成を祝いました。

最後に田中重之実行委員長が「今後とも、魅力ある看板整備を通じて、柘植地域のPRに努めたい」と意気込みを語るとともに謝辞を述べ、セシモ二一を終えました。

積殖の山口

壬申の乱⁽⁶⁷²⁾において、吉野で挙兵した大海人皇子は吉野から兵力を集めながら伊賀国を縦断し伊勢美濃へと進軍した。その様子を日本書紀は「^{あけぼの}会明に^{たらの}刺萩野に至る。暫く駕を停めて進食す。積殖^{つみえ}の山口に到りて、高市皇子鹿深山より越えて以て遇ふへり」と記している。「積殖の山口」の「積殖」とは古来から近江・伊勢の交通の要所であった伊賀市柘植町のことであり、「積殖の山口」とはこの地にあたるといわれている。

伊賀市教育委員会



台風で倒壊した先代の看板。
国道を挟んで現在の向かい側にあった。

区を越えて、全地域のために！



生活環境部会では、柘植地域を大きく3エリアに分けて、部会員が地域環境に目を向けようとパトロール等を行い、「実行第一」で、美化作業を進めています。



地域内にある県道や市道の歩道の縁石は、毎年、夏場に草が繁茂して、場所によっては視界を遮り危険であるとともに、不法投棄等の温床にもなっています。

5月16日(土)午前、下町区・山出区・前川区・上村区のグループで除草剤散布作業を行いました。

すでに岡鼻区・小林区・柘植青葉台区・上町区のグループでは、4月14日(土)に実施し、今回は地域で2回目の作業となりました。区を越えた協力により、地域の連帯力を高めて生活環境を維持していきたいものです。次回、倉部区・小杉区・野村区・中柘植区のグループでも同様の取り組みをしながら、結果の検証をしていく予定です。



大府市内にはコミュニティ組織が7つあり、北山コミュニティ推進協議会は北山小学校の校区がエリア。活動単位として、広報調査部、家庭教育部、生活環境部、体育文化部、交通防犯部等があるとのこと。

ようこそ！愛知県大府市
北山コミュニティ推進協議会
のみなさん

6月17日(日)午前、愛知県大府市から36名の方が柘植地域の視察にお越しになり、本部役員等で私たち柘植地域の取り組みを紹介、交流をしました。

北山コミュニティのみなさんは、自治会への加入率が低いなど課題のある中ですが、公民館を核に自治会を越えたエリアでさまざまなイベントを実施しているとのこと、女性の活躍もテーマによっては進んでいるそうです。

3地域そろってこそ「いがまち」

6月22日(金)午後、柘植地区市民センターで、今年度のいがまち合同区長集会を開催しました。



最初に、3地域を代表して、西柘植地域まちづくり協議会会長である奥澤重久さんがあいさつに立ち、3地域の結束の大切さを述べられました。

今回の集会では、「川上ダム本体建設工事に係る敷材運搬について」と「台風接近時の減災対策について」の行政説明と意見交換を行いました。



その後、伊賀支所に事前連絡してあった事項についての懇談を実施しました。

夜は、3地域のまち協役員・区長による懇親会があり、日頃は話すことのない西柘植や壬生野の区長さんたちと打ち解け合い、交流を深めることができました。



いがまち3地域(柘植・西柘植・壬生野)合同区長集会について

この会合は3年前から始まりました。幹事は持ち回りで今年度は柘植地域が会場となりました。伊賀市になってからというもの、伊賀町時代にあった求心力も失われつつある現状をふまえ、「旧伊賀町エリアとして、もっと交流をしよう」との掛け声で始まった取組みです。まちづくりを進めるためには3地域が一体となり、加えて伊賀支所も含めた協力体制を整備していきたいと考えています。



意外と有名! 「柘植の里」

みなさんご存知のドラマ水戸黄門に出てくる「風の鬼若」や「アキ」の故郷として「柘植の里」が描かれていることをご存知ですか?

「柘植」という地名は、全国的には意外にも有名であったことを、大府市の方から教えていただきました。ここにもまちづくりのヒントがあることに気づきました。



午前の研修の後、昨年12月に開所した「杜のカフェいこいこ」で昼食をとっていただき、(臨時営業)、柘植の地元野菜を活かした食事を楽しんでいただきました。

もう一度、通学路沿いの安全点検を!!

重要

自主防災実行委員会

さる6月18日(土)朝、緊急地震速報が鳴るや否やガタガタガタガタの音とともに最近では感じたことのない揺れがあり、「大阪北部地震」が発生しました

この地震で、震源地に近い高槻市の小学生が通学路上にある学校プールのブロック塀の倒壊で死亡するという痛ましい事故が起こったのは、皆さまご承知のことと思います。

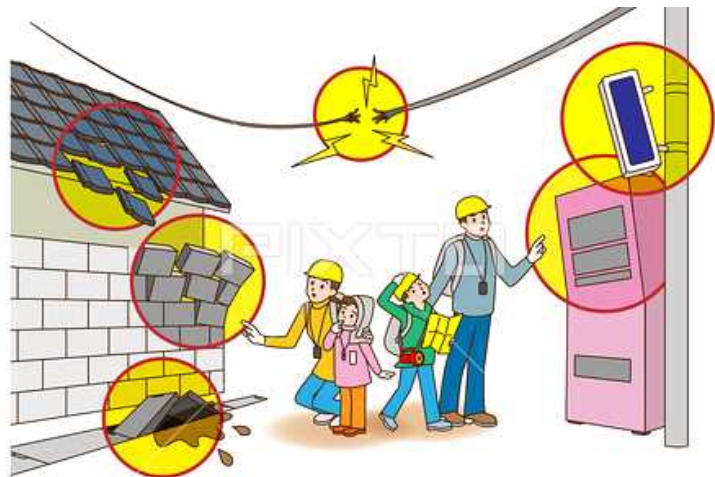
自主防災実行委員会では平成28年8月、各区の自主防災委員・地区委員・保護者の方や子供さんの協力を得て、通学路を中心とした『柘植地域防災マップ』を作成しました。

この時に通学路の危険箇所を点検確認しましたが、今回の事故を受け見落とししている「危険」は無いのか、もう一度確認する必要があるのではないかと考えています。

通学路の危険は、ブロック塀や屋根瓦の落下だけではありません。

道路横断時の交通事故、連れ去りや痴漢発生を誘引する人気(ひとけ)の少ない道路、電柱・自動販売機の転倒、側溝への落下等色々な危険要素について、保護者も子どもも先生も地域住民も考えることが重要だと思います。

身近なところに危険が潜んでいないか注意し、現状のままで良いのか、どうすれば良いのかをご家庭や地区で考えましょう。



pixta.jp - 3136416

☆☆事務局だより☆☆

▼今年もすでに半年が経ちました。部会や実行委員会が主体となって各事業が取り組まれていきます。そんな中、柘植地域内外から、「斎王群行」が休止となったことに対して、残念がる声をよく聞きます。▼とりあえずは「休止」という形です。ので、やり方を変えて実施ができればいいのですが今のところ再開の見通しは立っておりません。▼そういう点では、今回1歩に掲載した「積植の山口」観光看板は、足掛け3年の成果物であり、次のような3つの手順を踏んでいたことが他の取り組みにも参考になると思います。▼最初は、漠然とした「夢・アイデア」を出し合う期間がありました。やはり夢を共有することが一番のベースに必要でしょう。次に「夢」を実現できるかどうか調査ならびに調整の期間がありました。現状がどうなのか、関係者や有識者を含めて幅広いデータを集めたことは話を具体化するときに威力を発揮しました。最後は、予算面や賛同者を拡大し実現に向けて取り組んだ期間(実行期間)です。▼いまや要望すれば行政が動いてくれるような時代ではありません。「**補完性の原則**」を最大限に活かして、自分たち(まち協)で出来ることは自分たちで、そして伊賀市行政や三重県行政にも自分の役割を果たしていただく粘り強さが必要であると考えています。

(西田方計)



記者の質問に答える梅田徹さん(右)と田中重之さん(中央)

まち協事務局では、印刷ならびにコピー(白黒・カラー)のサービス等を行っています。使用料などについては事務局へお問い合わせください。

